

Q10

乳幼児期にDPTワクチン又はDTトキソイドの接種を受けていない場合、破傷風の予防接種はどのようにすればよいのでしょうか。

A

破傷風は外傷等により、年齢に関係なく誰でも免疫がなければ感染発症する可能性があります。ですから、破傷風に対する免疫がない人は積極的に破傷風の予防接種を受けることが勧められます。

通常、初回免疫として沈降破傷風トキソイド0.5mLを、3～8週の間隔で2回皮下に接種します。標準として初回免疫終了後12～18カ月の間に0.5mL 1回追加接種を行い基礎免疫を完了します。その後は抗体産生に対する個人差も考慮して10年毎に1回追加接種を行います。新生児破傷風や産褥性破傷風の予防のために妊娠後期(6カ月前後)に沈降破傷風トキソイドを4週以上の間隔をおいて2回接種することもできますが、近年日本では新生児破傷風や産褥性破傷風の発生報告はほとんどありません。